

令和5年7月吉日

和歌山大学受験者 各位

和歌山大学硬式野球部
主務 山本直輝

和歌山大学の受験に関するご相談・お問い合わせについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

大学受験を控えられている受験生、その保護者の皆様におかれましては、緊張や焦りを感じる日々が続いておられることと思います。受験生の皆様が、今まで培ってきた力を発揮できますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、和歌山大学硬式野球部では受験生の皆様に、受験に際して少しでもお力になれることができればと考え、下記の通り受験に関する相談のご案内をさせていただきます。

和歌山大学の受験に関するご質問、和歌山大学硬式野球部に関するご質問がございましたら、下記の電話番号またはメールアドレスへご連絡ください。高校野球を経験された選手だけに限らず、大学から野球に携わってみたいと考えている方、マネージャーに興味をお持ちの方もぜひお気軽にご連絡ください。

敬具

記

1. 対象

○和歌山大学推薦入試…経済学部（スポーツ・簿記）

◎教育学部（地域【紀南】推薦枠・きのくに教員希望枠）

◎システム工学部

◎社会インフォマティクス学環

（↑◎印の3学部は大学入学共通テスト利用）

○和歌山大学一般入試（前期/後期）…経済学部

教育学部（文系・理系・保健体育・美術又は音楽）

システム工学部

観光学部

社会インフォマティクス学環

※下線部分の教育学部（保健体育・美術又は音楽）・観光学部・社会インフォマティクス学環入試は前期試験のみ

※教育学部（きのくに教員希望枠）は今年度から実施

※社会インフォマティクス学環は今年度から開設学部（推薦入試・一般入試 前期試験のみ）

上記入試方法で、和歌山大学入学試験の受験を検討されている受験生（浪人生含む）及び、その保護者の皆様

2. 問い合わせ先

ご相談・ご不明な点等ございましたら下記までご連絡ください。

担当：和歌山大学硬式野球部 主務 山本直輝

電話番号：080-8530-3100

Mail：wubc89@gmail.com

以上

経済学部

3年生 経済学部 下須崎開人
(大阪・清教学園高校)



◆経済学部の特色

経済学のみならず経営学、情報学、法律学など幅広い分野を学ぶことができますし、テレビにも出演されている先生もいらっしゃって専門的にも学ぶことができます。

また、所属人数も多いので授業のグループワークなどでは様々な人と関わり合うことができます。野球部も半数近くが経済学部にも所属しているため授業や課題、進路についての相談ができる先輩がたくさんいます。

◆どんな事を勉強できるか

上記に述べた通り、将来、就きたいと思う職業に合わせてプログラムを選択して、専門的に勉強することもできますし、将来やりたいことが無くても自分の選択肢を増やすために幅広く勉強することもできます。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

小学校から始めた野球を大学でも続けたいと思ったのが一番でした。そこで自宅から通えて、野球と学業を両立できる大学を探し、和歌山大学を目指そうと思いました。国立大学であることも目指すきっかけの一つになりました。

◆オフの過ごし方

友人、恋人と時間を共にする人、ジムに行って体を鍛える人、アルバイトをする人など、それぞれです。普段の練習でグラウンドを満足に使うことができないことが多いので選手一人一人がオフの時間を無駄にしないように計画を立てて時間を過ごしています。

◆大阪からの通学について

当然、和歌山に住んでいる部員よりも早く家を出なければいけないので時間的な制限はあります。朝が早いときは和歌山に泊まらないといけないこともありますが、練習の開始時間は移動時間を考慮してくださるので大阪から通学することは可能です。電車移動の時間を有効に使うことができれば自由な時間を確保できると思います。また、大阪から通学している大阪組はみんな優しく仲が良いです。



教育学部

2回生 教育学部 伊東太希
(和歌山・星林高校)



◆教育学部の特色

1回生の頃から教育実地研究という授業があり、早い段階から教師になるためのスキルを身につけていくことができます。また、へき地・複式教育実習という和歌山大学の特徴でもある実習があります。これは絶対参加ではないので、興味がある人は参加してみると良いと思います。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

教員免許を取れる、かつ、地元である和歌山で学びたかったというのが1番のきっかけです。和歌山大学を目指そうという思いがさらに強くなったきっかけは、約2年前の全日本大学野球選手権での和歌山大学と慶応義塾大学との試合をダイジェストで見たことです。そしてこのチームで野球をしたいと思いました。

◆どんな事を勉強できるか

自分の学びたいことを自由に学ぶことができ、2年次からは自分の学びたい分野、種目を専攻することができます。ただし、実技系の試験を受けて合格した人は少し違います。1教科の免許だけ、小学校の教員免許だけを取ることもできますし、複数の免許や色々な資格を取ることができます。来年からは小学校免許取得が卒業条件になるらしいです。

◆アルバイトについて

僕の場合は、1ヶ月固定シフトで、水曜日の夜の時間帯のみバイトをしています。火、木、土、日曜日、祝日が練習日となっていて、休みの日にはバイトを入れることができるので、とても自由度は高いです。ですが、教育学部は1回生のうちは授業も課題も多く、休みの日に毎日バイトを入れるというのは厳しいと思います。なので、ある程度融通の利くバイトをすることが1番良いと思います！

◆和歌山大学硬式野球部に入部して良かったこと

1回生の時に全日本大学野球選手権という舞台を生で見ることができて、自分たちが目指す目標をはっきりと見る事ができたとし、同じ目標に向かって突き進む仲間、ライバルと練習することで、競争心が生まれ、自分自身の技術の向上を目指す環境ができていたことが自分にとって良いと思っています。また、遠征など集団生活を通して将来的に社会で必要となってくる力や、礼儀など色々なことを学ぶことができるので、良かったです。



システム工学部

3年生 システム工学部 鶴井隆仁
(大阪・天王寺高校)



◆システム工学部の特色

システム工学部はメジャーという専門領域を2つ学ぶ「ダブルメジャー制」を採用しているため、時代や社会の求める技術的なニーズに応えることができる力を身に付けることができます。「機械電子制御」・「電気電子工学」・「材料工学」・「化学」・「知能情報学」「ネットワーク情報学」・「環境科学」・「環境デザイン」・「メディアデザイン」・「社会情報学」の10種のメジャーから自分の興味のある分野を専攻して学ぶことができます。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

国公立大学で野球をしたかったこと、自分の興味のあることを学ぶことができる環境であったことがきっかけです。

◆どんな事を勉強できるか

1年の間は工学に共通する基礎知識を主に学習し、2年から10種のメジャーに配属され専門的な勉強をすることができます。1年生の間にそれぞれのメジャーについて紹介を受けたり、体験をしたりすることができるので入学してからも何を学ぶか考えることができます。

◆システム工学部の進路について

メジャーによって進路は変わりますが、技術系の研究職やエンジニア、ゼネコンなど様々な進路があります。また、半分近くの学生が大学院に進学をします。

◆勉強と部活の両立について

私は大阪から電車通学をしているので電車に乗っている間に課題をしたり、空きコマに図書館で勉強をしたりしています。課題の提出期限から1週間のある程度の予定を立てて、トレーニングをしたり空いている時間を見つけて課題をすると良いと思います。

◆浪人生に向けて

私は1年間の浪人生活を経て和歌山大学に入学しました。毎日勉強ばかりで、成績が伸び悩むこともありつらい時期もありました。しかし、1年間努力をし続けたり、自分に向き合うことができたので浪人して良かったと思います。大学に入学してからの生活に支障が出ることはありません。浪人していることから野球をするか迷っている方がいるかもしれませんが、ブランクがあっても入部後は体づくりから始めることができるので心配しなくても大丈夫です。



観光学部

4回生 観光学部 安藤夢乃
(三重・津東高校)



◆観光学部の特徴

観光学部は、観光学を構成する「観光経営」「地域再生」「観光文化」という3つの基本領域をコンセプトとした1学科3コースからなる教育体系でカリキュラムが組まれています。国際的視点を育むために、専門科目の全てを英語による講義で履修可能となるグローバル・プログラムも導入しています。そして、実践型教育もとても充実しています。地域が抱える課題を住民とともに発見し、解決方法を考える地域インターンシップはとても魅力的なものになっています。私も実際、紀美野町げんきマップ作成の活動に参加させていただいています。まだまだ、完成には程遠いですが地域の調査やメンバーとの話し合いを重ねている今、自分自身の成長も感じています。また、国公立の観光学部は和歌山大学しかない為、全国から学生が集まってきています。話してみると方言の違いや文化のちょっとした違いに気づきます。そういったところも観光学部ならではの特色だと思います。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

高校2年生になり、本格的に進路を考え始めました。そんな時、文化祭の実行委員を担当することになり、クラスのイベントを自身が主となり企画しました。実行委員の活動での取り組みを通して、担任の先生が創造力や協調性のある私に合うのではないかと和歌山大学観光学部を紹介してくださいました。企画やプロデュースといったことを学びたいと思う反面、好きだった英語を更に学びたいという思いの方が強く、紹介していただいた時は他大学への進学を前向きに検討していました。その後、和歌山大学観光学部について調べていくと、企画やプロデュースの力を身につけることの出来る授業や課外活動に加え、英語で観光学を学ぶことのできるプログラムがあることを知り、ここで学びたいと思い始めました。また、デザインや経営、農業など様々なことを観光に結びつけて学ぶことができる環境が整っており、好奇心旺盛な私にとって、魅力的な学部だと思いました。

◆どんなことを勉強できるか

観光学部は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文社会科学から自然科学まで幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムがあります。そのため、自分が興味のある分野と観光の結びつきを学ぶことができます。また、日本文化演習というユニークな実践科目もあります。着付けや茶道といったものもありますが私は日本語作法を履修しました。実際にアナウンサーをされている方から発声・発音方法、正しい日本語を学び、自分自身の力不足に気づくと共に成長できた授業だったと感じています。このように様々な分野を高いレベルで学べることが観光学部の大きな魅力です。

◆マネージャーをしようと思ったきっかけ

私は高校時代も野球部のマネージャーを経験したので、大学入学時、野球部マネージャーは視野には入っていました。ですが、日本一を目指す部活への入部は、大学生活は自分の時間を一番にと考えていた私にとって簡単なことではありませんでした。そんな中で、和歌山大学硬式野球部 PV の視聴に加え、オンライン新歓や練習体験に参加させていただきました。その際に選手の野球に向き合う姿に感動し、入部を決意しました。入部して3年目になりますが、素敵な先輩方、後輩達、そして、同期に囲まれて過ごす毎日はとても充実していて楽しいです。これからの人生では味わうことの少ない、本気の青春を最後の学生生活に捧げてみませんか？

◆一人暮らしについて

2.3 回生の多くは大学から原付で 5~10 分ほどの場所にアパートを借りて一人暮らしをしています。一人暮らしは大学からという学生がほとんどで慣れないこともあります。ですが、同じアパートや近くには部員が必ずいて、お互い助け合って楽しみながら生活しています。自分を成長させる大きなチャンスです。そして、今まで育ててくれた両親への感謝を大いに感じる機会になると思います。一人暮らしへの不安は先輩に沢山聞いてください!! 私たちが解決いたします^^

◆オンオフの切り替えについて

私はしっかり計画をたてることで、切り替えています。授業時間、部活に行く時間、アルバイトに行く時間、課題をする時間、友達と遊ぶ時間など 1 日のスケジュールをきちんと決めることで充実した大学生活を送ることができています。また、私は ON と OFF の切り替えができるように勉強用のデスクを部屋に置いています。家で集中できないときは、近くのカフェで勉強するなど、自分が集中できる環境を自分で作ることが学業との両立の秘訣だと思います。